

☆ 新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲げた重点施策等の平成20年度における主な取組

《第1章》子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり

○ 市民・地域ぐるみで進める子育て支援の風土づくり

社会全体で子育てを支援していく風土づくりを進めるため、次の事務事業を実施しました。

ア 子どもを共に育む京都市民憲章の推進 <予算額：6,000千円>

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）に制定した「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念が市民生活のあらゆる場で実践される社会の実現に向けた取組を推進しました。

【保健福祉局 児童家庭課、教育委員会事務局 生涯学習部】

イ 083, 273 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の拡充：《第2章関連》

<予算額：54,083千円>

子育て中の親の負担感や孤立感を緩和し、安心して子育てができる環境を整備するため、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場所を新たに5箇所開設しました。（既設と合わせ市内計14箇所）

（参考）数値目標設定施策 14箇所（平成20年度）→20箇所（平成21年度）

【保健福祉局 児童家庭課】

ウ 055 地域子育て支援ステーションの拡充：《第2章関連》 <予算額：47,900千円>

小学校区を基礎単位に、市民に身近な地域レベルでの相談・支援センターとして、新たに10箇所の保育所、児童館を指定しました。（既設と合わせ市内計170箇所）

【保健福祉局 児童家庭課】

エ 006, 067 育児支援家庭訪問事業：《第2章関連》 <予算額：58,425千円>

子どもの養育について支援を必要としながらも自ら積極的に支援を求める家庭に対し、訪問等による援助活動を行いました。（平成17年12月から、子ども支援センター（福祉事務所）及び保健所で実施）

【保健福祉局 児童家庭課、保健医療課】

○ 第2児童福祉センター基本構想策定調査 <予算額：1,000千円>

児童虐待、障害相談に迅速かつ的確に対応するため、市南部地域に新たに第2児童福祉センターを設置することとし、平成20年度は基本構想策定へ向けた調査を行いました。

【保健福祉局 児童家庭課】

○ 発達障害児等支援事業（障害等で支援が必要な子どもの福祉） <予算額：18,800千円>

自閉症などの発達障害等の様々な障害のある児童に療育を行うため、発達障害児等療育教室を設置しました。

- ・ 場所 西京区樋原百々ヶ池（京都保育福祉専門学院内）

【保健福祉局 障害保健福祉課】

○ 033, 244 障害のある児童・生徒の教育の推進（総合育成支援教育の推進）

ア 総合支援学校高等部等の定員拡大 <予算額：7,000千円>

企業就職を希望する生徒や保護者の願いに応えるため、高等部職業学科の定員を拡大しました。平成21年度から、白河総合支援学校に新専門教科「地域コミュニケーション」を設置し、8名の定員拡大。鳴滝総合支援学校では4名の定員拡大を行いました。

また、長期的な視点で今後の総合支援学校高等部等のあり方を検討するため、定員拡大の計画や地域制総合支援学校の児童生徒数増加への対応等について検討する「総合支援学校高等部職業学科等定員拡大検討委員会」を設置し、検討を進めました。

イ 総合育成支援員の配置 <予算額：153,100千円>

普通学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症等の発達障害や肢体不自由等の幼児・児童・生徒に対して、きめ細やかな指導を行うために、学習活動上の支援や学校生活上の介助等を行う総合育成支援員を配置しました。

- 配置校（園） 配置が必要なすべての学校・園

- 平成20年度実績 233校（園）に311名を配置

【教育委員会事務局 総合育成支援課】

## 《第2章》次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

○ 069, 086 北部山間地域の子育て支援～広げよう！やまの子育ての輪～（地域において住民相互で行われる子育て支援活動への支援）<予算額：1,000千円>

左京区北部山間地域において、乳幼児を対象とした身体測定、健康相談、情報交換を行う「のびのびやまの子育て 健康相談＆交流会」や、地域の高齢者と子ども、保護者による交流会「やまのおじいちゃん・おばあちゃんの知恵袋」を開催し、地域住民との協働による子育て支援を実施するとともに、ホームページ等において山間地域ならではの子育ての魅力を広く発信しました。

【左京区役所 健康づくり推進課、支援課、総務課】

○ 110 みやこユニバーサルデザインの推進 <予算額：11,196千円>

- ユニバーサル上映補助

身近な娯楽である映画に着目し、映画を上映する際に、字幕・副音声を付けるユニバーサル（バリアフリー）上映に係る補助制度を設け、建物やもののユニバーサルデザインと並んで大切な「情報のユニバーサルデザイン」の普及推進を図りました。また、補助を適用した作品の上映時に、市が作成するCM映画等により、ユニバーサルデザイン施策をPRしました。

- みやこユニバーサルデザインフォーラム（みやこUDF）交流協働支援

障害のある方をはじめ、様々な分野の専門家、市民ボランティアなどの参加と協働で、ユニバーサルデザインに関する情報交換や調査研究、実践等を通じて、市民の主体的な取組を充実、発展させることを目的とする組織の活動を支援しました。

- みやこユニバーサルデザイン賞の募集、表彰

企業、NPO、学校、個人などの幅広い層を対象に、まち、もの、サービスに関する具体的なユニバーサルデザインの取組事例やアイデアを募集しました。

【保健福祉局 保健福祉総務課】

○ 京都あんしんタクシー（福祉移送）事業（子育て家庭への支援） <予算額：9,000千円>

高齢者や障害のある方等の福祉移送の更なる普及や子育て世帯への移送支援を図るため、タクシー事業者等が共同で設置する共同配車センターのシステム整備及び広報に対し助成を行いました。

【保健福祉局 保健福祉総務課】

○ 3人目以降の子どもの保育料無料化（子育てに必要な経済的負担のあり方）

ア 幼稚園における同時就園3人目以降の保育料ほぼ無料化

<予算額：29,000千円、歳入減額：6,400千円>

保護者負担を軽減し、子どもを安心して産み育てる環境を整えるため、私立幼稚園に通園する3人目以降の子どもに対する補助金を増額することにより、保育料と入園料をほぼ無料化しました。（第4章 219 関連）

市立幼稚園においては、減免制度を拡充し、保育料と入園料を無料化しました。

- ・対象 幼稚園（保育所）から小学校3年生までに兄、姉が2人以上いる幼稚園児
- ・実施時期 平成20年4月にさかのぼって実施

【教育委員会事務局 調査課】

イ 保育所等における3人目以降の保育料無料化 <予算額：－、歳入減額：6,500千円>

同一の世帯から3人以上の児童が同時に保育所等を利用している場合、3人目以降の保育料を無料化しました。

- ・実施時期 平成20年4月にさかのぼって実施

【保健福祉局 保育課】

○ 122 保育所整備助成（施設整備による保育所定員の拡大） <予算額：236,000千円>

牛ヶ瀬保育園（西京区）の定員増（60→90人）を伴う増改築整備、万因寺保育園（山科区、定員150人）の保育スペース拡張を伴う老朽改築整備に対して助成を行いました。

（参考）数値目標設定施策 24, 450人（20年度）→24, 525人（21年度）

【保健福祉局 児童家庭課、保育課】

○ 127 延長保育の拡充 <予算額：512,064千円>

就労時間帯の多様化等による保育需要の増加に合わせ、延長保育実施保育所を164箇所から169箇所に拡充しました。

（参考）数値目標設定施策 169箇所（平成20年度）→179箇所（平成21年度）

【保健福祉局 保育課】

○ 123, 129 一時保育の拡充 <予算額：100,402千円>

保護者の断続的・短時間就労に伴う一時的な保育（非定型）や、保護者の傷病などによる緊急時の保育（緊急一時）、保護者のリフレッシュを図るために保育といった様々な保育需要に対応できるよう、また、未就園児童への子育て支援サービスの提供という役割を果たすことができるよう、一時保育実施保育所を33箇所から37箇所に拡充しました。

（参考）数値目標設定施策 37箇所（平成20年度）→42箇所（平成21年度）

【保健福祉局 保育課】

○ **130 休日保育の拡充** <予算額：6,993千円>

日曜・祝日に勤務する保護者等に対する保育サービスとして、休日保育事業を実施しています。

(参考) 数値目標設定施策 3箇所(平成20年度) → 5箇所(平成21年度)

【保健福祉局 保育課】

### 《第3章》子どもを安心して生み健やかに育てるこことのできるまちづくり

○ **178 妊婦健康診査の拡充（妊娠婦の健康の保持増進のための支援）** <予算額：235,613千円>

妊婦健康診査に対する公費負担の回数を増やすとともに、府外で健診を受ける市民に対しても公費負担を行いました。

・公費負扱回数 1→5回(低所得者2→5回)

【保健福祉局 保健医療課】

○ **新生児等訪問指導の拡充（こんにちは赤ちゃん事業）** <予算額：35,895千円>

従来の訪問を希望する家庭への新生児等訪問指導を拡充し、生後4か月までの乳児のいるすべての御家庭を訪問し、子どもの発育・発達や母親の心身の回復に関する相談に加えて、母親の精神的支援や、子育てに関する情報提供を行い、子どもを安心して生み育てていただくことができるよう支援しました。

・対象者：生後4か月までの乳児のいるすべての家庭

【保健福祉局 保健医療課】

○ **197 麻しん・風しん予防接種の拡充（予防接種の取組の推進）** <予算額：486,000千円>

乳幼児期に1回だけ接種している世代について、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の方を対象に2回目の接種を実施しました。今後5年間で、18歳以下のすべての市民に2回目の接種機会を確保します。

制度改正の経過 ※( )は接種時期

- ・平成17年度以前 1回接種(生後12月～90月未満)
- ・平成18年度以降 2回接種(1歳、小学校入学前1年間)
- ・平成20年度から平成24年度まで

2回目の接種時期を追加(中学1年生及び高校3年生相当)

【保健福祉局 保健医療課】

## 《第4章》次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

### ○ 215 「おやじEXPO2008」及び「京都おやじの座談会」開催 <予算額:5,000千円>

「おやじEXPO2008」では、「わが子の父親から地域のおやじへ」を合言葉に、父親の家庭教育や地域活動への積極的な参加を促進する様々な活動を展開している「おやじの会」の取組等を一堂に集めて紹介、活動の活性化を図りました。また、各「おやじの会」の連携や取組についての情報交換をさらに進め、また会員同士の交流と親睦を深めるため、「京都おやじの座談会」を開催しました。

【教育委員会事務局 生涯学習部】

### ○ 221 PTAハンドブックの作成 <予算額:3,300千円>

PTA活動の趣旨やあり方・各校種の実践事例をまとめたPTA活動の手引きを作成、全家庭に向けて配布しました。

【教育委員会事務局 生涯学習部】

### ○ 市立学校・幼稚園ホームページ作成支援システムの導入（開かれた学校づくりと地域ぐるみ・市民ぐるみの教育の推進）<予算額:38,000千円>

市立学校・幼稚園にホームページ作成支援システムを導入し、見やすくわかりやすいホームページを家庭、地域へ迅速に情報発信することにより、市立学校・幼稚園の取組への参画を促進するとともに、障害のある方や高齢者を含むだれもがホームページの情報を利用することを可能にしました。

【教育委員会事務局 情報化推進総合センター】

### ○ 224 京都市方式による「子どもを共に育む『親支援』プログラム」の策定実践（親教育プログラムの開発と体系化）<予算額:3,000千円>

「子どもを共に育む京都市民憲章」の趣旨を踏まえ、親自身が「親」としての心構えや必要な知識・技術等を子どもの発育・発達段階に応じて学べるとともに、こうした「親の学び」を支援する者を養成する体系的システムを開発し、保育所・幼稚園・学校さらに保健所・児童館等で展開できる仕組みを構築するため、プロジェクト会議を設置し、プログラムの素案の検討を行いました。

・対象 妊娠期～乳幼児期の親、さらに小・中学生の児童・生徒を持つ親

・内容

(1) 親が、子育ての各段階で活用できる「親の学び」冊子の作成（全保護者対象）

(2) 「親育ち」学習プログラム（講座的性質）の構築と、本学習プログラムの支援者の養成

(3) 関係機関の連携による「京都市方式」の子育て支援システムの構築

【教育委員会事務局 生涯学習部、こどもみらい館】

### ○ 240 京都ジュニア環境サミット（実践を通して環境の大切さを学ぶ環境教育の推進）

<予算額:6,000千円>

2008年サミット外相会合京都開催にあわせ、「DO YOU KYOTO?」プロジェクトの一環として、また、学校・地域・企業等が連携して進めてきた京都市の環境教育を内外に発信する取組として、21世紀を担う子どもたちが、子ども議員として環境に関わる意見を表明し、議論を通じて行動アピールを採択する「京都ジュニア環境サミット」を開催しました。（6月22日「環境フェスティバル」と同時開催）

【教育委員会事務局 学校指導課】

## ○ 土曜学習の実施（確かな学力と豊かな創造性をもつ子どもたちの育成）<予算額：21,900千円>

「確かな学力」の育成に向け、学習習慣の確立と学力の定着・向上を図るため、小・中学校において、土曜日等休業日を積極的に活用し、学校運営協議会や保護者、学生ボランティア等の協力のもと、学習機会の拡充に向け、平成20年度は実践研究を行うモデル校96校で実施しました。

【教育委員会事務局 学校指導課】

## ○ 子ども舞台芸術鑑賞支援事業（確かな学力と豊かな創造性をもつ子どもたちの育成）

<予算額：4,400千円>

子どもたちに優れた文化芸術の魅力に触れる機会を創出するため、劇団四季の協力により、中学1年生から中学3年生の生徒とその保護者を対象に、低料金で舞台芸術を鑑賞することができる事業を実施しました。

【文化市民局 文化芸術企画課】

## ○ 学校統合による教育環境の充実整備（子どもたちを取り巻く教育環境の整備）

### ア 花背小学校・花背中学校整備

京都市内で初の施設一体型小中一貫教育校として別所小学校・花背第一中学校、八幡小学校・花背第二中学校、堰源小学校・堰源中学校が平成19年4月に統合し、開校した花背小学校・花背中学校の教育の更なる充実を図るため、元花背第二中学校敷地内において新校舎の整備を進めており、平成21年秋に竣工予定です。

### イ 下京涉成小学校整備 <予算額：1,154,000千円>

六条院・植柳・崇仁小学校の3校の統合を求める地元からの要望を尊重し、平成22年4月の開校に向けて、元皆山中学校敷地に新校舎を建設します。

平成20年度は、埋蔵文化財発掘調査を行い、引き続き新校舎建築工事に着手しました。

### ウ 開晴小学校・開晴中学校整備 <予算額：1,589,000千円>

東山区北部の7小中学校（白川・新道・六原・清水・東山の5小学校及び洛東・弥栄の2中学校）の統合を求める地元からの要望を尊重し、平成23年4月の開校に向けて、現洛東中学校を中心に、現六原小学校も活用して施設一体型の小中一貫校を新設します。

平成20年度は、洛東中学校の元貞教小学校への移転後、現洛東中学校校舎の解体を行うとともに、新校舎の実施設計に着手しました。

【教育委員会事務局 教育環境整備室】

## ○ 学校増改築等施設整備事業（子どもたちを取り巻く教育環境の整備）

### ア 小学校増収容対策 <予算額：24,600千円>

児童数の増加に伴う教室数の不足、給食室の狭隘化を解消するため、小学校校舎の増改築を行いました。

・実施設計 西陣中央小学校、桂坂小学校、羽束師小学校（給食室）

### イ 御所南小学校グラウンド用地取得・整備 <予算額：28,000千円>

平成18年12月の京都府・京都市間における合意に基づき、京都府から中京庁舎跡地を取得し、これに隣接する富小路殿公園と合わせ、御所南小学校グラウンドとして整備します。

平成20年度は、公園の一部解体、グラウンドの造成設計を行いました。

・場所 中京区富小路通二条上る鍛冶屋町

・整備面積 4,269m<sup>2</sup>（うち中京庁舎跡地取得面積888m<sup>2</sup>）

・供用開始 平成22年度

【教育委員会事務局 教育環境整備室】

○ **272 一元化児童館の整備** <予算額：532,550千円（＊）>

京都市葵児童館（左京区）、東福寺児童館（東山区）、以上2箇所の整備を行い、京都市北白川児童館（左京区）、京都市七条第三児童館（下京区）、京都市桂徳児童館（西京区）、以上3箇所の整備に着手しました。また、明徳児童館（左京区）、唐橋児童館（南区）、梅津北児童館（右京区）※名称はすべて仮称、以上3箇所の設計等を行い、整備に向け着手しています。

岩倉南児童館（左京区）、祥豊児童館（南区）※名称はすべて仮称、以上2箇所の児童館の設計等に着手しました。修学院第二児童館（左京区）、錦林児童館（左京区）、西野児童館（山科区）、向島南児童館（伏見区）※名称はすべて仮称、以上4箇所の児童館の実施設計及び京都市太秦児童館（右京区）の移転に伴う実施設計を行いました。

（＊）京都市葵児童館整備費に一括予算計上した京都市母子福祉センター整備費を含む。ともに北山ふれあいセンター内に設置。

（参考）数値目標設定施策 111箇所（平成20年度）→130箇所（平成21年度）

【保健福祉局 児童家庭課】

○ **放課後まなび教室の推進（子どもの健全育成のための環境づくり）** <予算額：233,278千円>

余裕教室や図書館等の学校施設を活用し、地域・PTAや学校運営協議会、学生等の支援の下、自主学習、読書、文化的活動などを行い、市立小学校に通う児童に放課後の「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を確保します。

平成21年度の市内全小学校実施（179校）に向けて、平成20年度は、平成19年度に実施している50校に加え、新たに、65校で実施しました。

【教育委員会事務局 生涯学習部】

## その他

○ **新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」の見直し** <予算額：16,500千円>

現行の新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」の計画期間が平成21年度までとなっており、プランの見直しに着手しました。

・平成20年度 プラン見直しに当たっての基礎資料とするため、各種調査を実施

- ① 子育て支援に関する市民ニーズ調査（※児童家庭課が担当）
- ② 結婚と出産に関する意識調査（※児童家庭課が担当）
- ③ ひとり親家庭実態調査（※児童家庭課が担当）
- ④ 母子保健に関する意識調査（※保健医療課が担当）
- ⑤ 思春期に関する意識調査（※保健医療課が担当）

・平成21年度 次期プランの策定

【保健福祉局 児童家庭課、保健医療課】